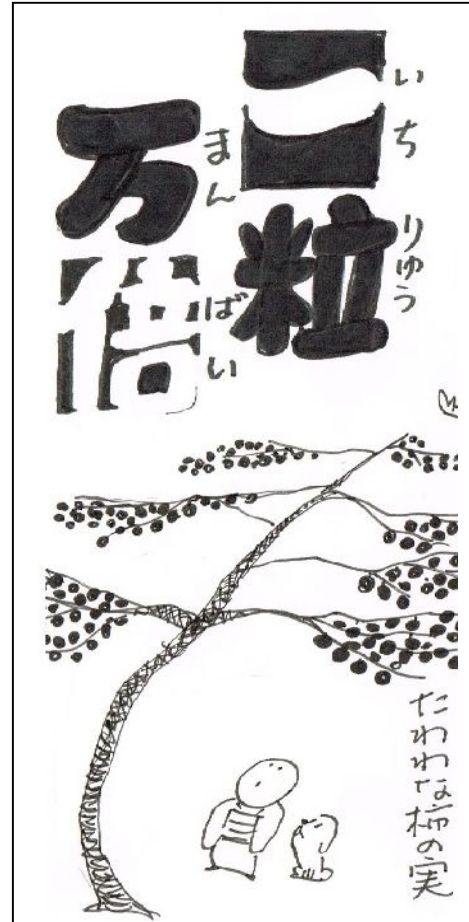


先週の回答



「うちの総務部長ったら、信じられないドケチ」と友子さん憤慨顔。
 「って？」と同期入社ヒロ子さん。いとお天気のお昼休みの会社の屋上。
 『このたびトイレットペーパーは一回二〇センチ以上の使用は禁じます』だって」
 「二〇センチはひどいんじゃないの。満足にふけないじゃないの」
 『そう決めたのは、一粒万倍（いちりゅうまんばい）、みなさまにものを大切にする心を養ってもらいたいからです』だって」
 「一粒万倍ってなあに？」
 『たった一粒の種からでも万倍もの収穫が得られる。つまり、わずかなものも粗末にすべきではなく、大切にしなければ』

「ばいけないう戒めである』だって」
 「よくわかんない。だって一粒の柿の種だったら、その種が柿の木になって、実をたくさん実らせて、たしかに何倍もの収穫になるけど、一〇センチ節約したトイレットペーパーから何が生まれるのよ？」
 「あたしも、そう言ったのよ」
 「そしたら？」
 『わずかな節約する心が大切なんです。ひいてはわが社の発展にその心を生かしてもらいたいからです』ときやがった。で、社長にほめられたもんだから、何かという『一粒万倍』『一粒万倍』ってうるさいのよ。ちよつと水道出しっ放しにすると『一粒万倍』、ちよつとチョコクすると『一粒万倍』って」
 「チョコクがどうして一粒万倍なのよ？」

「少しの時間でもチョコクすると、その分の仕事の実りが少なくなり、ひいてはわが社の・・・とくるのよ」
 「で？」
 「だからあたし言っちゃったの。『たしかに人間も一粒万倍ですね』って」
 「それって？」
 『一粒の種で子どもが出来て、何倍もの親孝行をしてくれますからね』って」
 「そしたら？」
 「子ダネのない部長は、一粒万倍を口にしなくなったわよ」



今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。